



# 磯の生き物観察力向上講座 開催しました!

日時: 平成29年6月24日(土)  
13:00~17:00

会場: さぬき市津田公民館 北山分館  
及び周辺海岸

講師: 大谷 道夫氏  
(大阪市立自然史博物館外来研究員)



6月24日(土)に、さぬき市津田にて、かがわ里海大学専門コース「磯の生き物観察力向上講座」を開講しました。

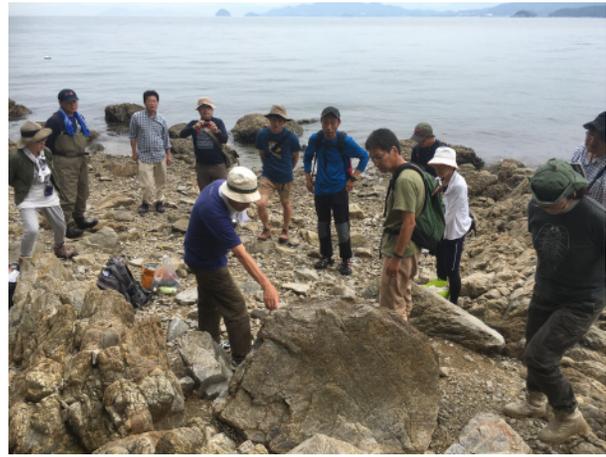
この日は9名が講座に参加しました。最初に津田公民館北山分館にて、講師の大谷氏より、磯の生き物の特徴と見分け方について解説がありました。



磯には様々な生物がありますが、潮が満ち引きする間の高さの範囲(潮間帯)に、それぞれ生活しやすい生き物が帯状に分布しているという解説があり、これらは瀬戸内海だけでなく、世界のどの海でも見られるパターンであることを学びました。

講義の後は、公民館近くの磯へ移動して、実習を行いました。

磯では、講義で学んだように、潮の高さによって生息している生物がはっきりと分かれて分布していました。



まずは潮間帯の高い位置に生息する生き物の観察を行いました。

同じように見える生物でも、殻の模様や、ひっくり返して見える足の部分の色などで学術的には別の生物であるという解説があり、参加者はその見分け方について、実物を見ながら観察をしていました。



潮間帯の中ほどに位置する部分の観察では、石の裏側に注目ということで、石をひっくりかえして観察を行いました。

ある程度海水もあって、生息しやすいところには生物が多く分布していますが、生物同士の生きる競争も激しくなるところであると解説がありました。





一番海水に近い部分には、貝以外にもカイメンやヒトデ、ホヤなどの生物も存在していました。普段食べているタコなどの生き物も発見されました。



驚くほど多くの種類の生き物が次々と見つかり、参加者の皆さんは磯には小さいものから大きなものまで数多くの生き物が生息しているのを改めて実感しました。